

マネージメント情報

※AI Gun Warmer（通称：ロッドウォーマー）のAIとETの温度について

北米では体内受精卵か体外受精卵とかは関係なく、新鮮卵を移植する時はより高い温度、凍結卵を移植する時はより低い温度を保つ事が一般的となっていることがわかりました。

EM TOOL 社の Gun Warmer の種類

A.I. Gun Warmer	35.00°C ($\pm 1.5\text{~}2^{\circ}\text{C}$)	< 95°F ($\pm 3^{\circ}\text{F}$) >
IVF Gun Warmer	36.67°C ($\pm 1.5\text{~}2^{\circ}\text{C}$)	< 98°F ($\pm 3^{\circ}\text{F}$) >
ET Gun Warmer	27.78°C ($\pm 1.5\text{~}2^{\circ}\text{C}$)	< 82°F ($\pm 3^{\circ}\text{F}$) >

北米では体内受精卵移植はほとんど凍結卵が使用されます。凍結卵（ダイレクト）には凍結液にエチレングリコールが含まれていて、融解後にエチレングリコールは温度が上がるとその毒性が増すので、移植する時には低い温度を保ったほうが受精卵へのダメージは少なくなりますので ET Gun Warmer を使っています。至適温度は 80-85°F (26.7-29.5°C) になります。

体外受精卵の場合、北米では新鮮移植が多いので体温に近い 95-98°F (35-36.7°C) の AI Gun Warmer を使っています。(IVF Gun Warmer でも良いが授精用の A.I. Gun Warmer が普及しているので新鮮卵はこっちで兼用する場合が多いそうです)

ET の普及に伴い受精卵の種類によって温度管理を区別する時代になりました。

体内胚 … A.I. Gun Warmer 35.00°C ($\pm 1.5\text{~}2^{\circ}\text{C}$)

体外胚 … ET Gun Warmer 27.78°C ($\pm 1.5\text{~}2^{\circ}\text{C}$)

現在、弊社系列の(有)US サプライ経由で輸入の手続きを取っていますが、世界的な半導体不足のために製品供給が滞っていまして、輸入ができるのは 10 月以降になる予定です。興味のある方はお問い合わせください。

※ 先日 26 年ぶりに診療車が新しくなりました。運転初日にパンクしてしまい幸運の良いスタートとなりました。高齢者仕様でいろいろな運転サポートシステムのオプションを付けました。あと何年この車とお付き合いができるのか?/ET 車と同じ世界地図と道東の白黒模様。リアゲートに 7 日間の体外受精卵の発生の過程と社章（あるんです！）のシールを新たに付けました。



R3.8.11.Y